

令和6年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	39	学校名(課程)	佐久平総合技術高等学校(全日制) 白田キャンパス
------	----	---------	-----------------------------

1 全体目標

○ 地域社会を支える人材として、自立した社会人となめざす人間の育成

2 現状・課題

総合学科の授業として「産業社会と人間」、学校設定科目として「キャリアミドル」「キャリアチャレンジ」を行い、自己理解や職業理解、社会の理解に積極的に取り組んでいる。その他にも進路希望を第一に考えて系列別に科目選択をしており、職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を養う機会を多く設けている。その一方で普通科科目においては職業的自立を意識するような系統立てた取り組みは希薄となっている。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。

学校で言い換えた力でもよい。

- a 自己の在り方、生き方を考え、将来設計に取り組む力
- b 卒業後の進路について、前向きに組み、その実現を目指す力
- c 社会や仕事で一般に必要な基礎力

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 学校生活全体の教育活動をキャリア教育の場と捉え、実践する。 イ 取り組みの繋がりを構成して、3年間の系統的な指導体制を整える。
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 講演会や就業体験活動等は事前・事後指導、特に振り返りと身に付いた力(基礎的・汎用的能力)の確認をする。
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ 年度末に評価を行い、次年度の取り組みに生かす。 オ 地域社会や日本・世界の様々な現実や課題、人間の生き方について考えさせる。
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	カ 知識・技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランス、言語活動の充実を図る。学んでいることと社会のつながりを意識させる。 キ 家庭や地域社会、産業界等の力を活用する。就業体験活動等、地域社会での体験活動を推進する。

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・「産業社会と人間」ではすべての系列の体験学習から、自己の適性をさぐる。
総合的な探究の時間 (三学年は総合的な学習の時間)	・「キャリア・ミドル」では、就業体験を課題として、それに向けた事前学習と、事後の振り返りを行う。 ・三年生の「キャリア・チャレンジ」では自己実現に向けた具体的な取り組みを支援する。
特別活動	・人間としての在り方、生き方を考えるための講演会、対人関係を見直す小論文等。 ・勤労観、就業観の形成を促すための就業体験(2年)、講演会、労働講座(3年) ・科目選択、進路の研究と選択 ・将来設計
校外の体験活動 (就業体験活動等)	・就業体験活動(2年生の夏休みに全員行う)〈2年〉 ・福祉施設体験、看護体験、オープンキャンパス(希望者)〈1・2・3年〉
地域や産業界等との連携	・「地域の課題を考えよう」(産業社会と人間) ・就業体験(事前・事後指導も含む)
評価	・生徒アンケート、教員アンケート、キャリア教育への取り組みを評価し次年度につなげる。 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用

中学校との連携 (指導の継続性)	・高校入学までのキャリア形成の振り返り(入学時) ・学校説明会で高校のキャリア教育を説明 ・体験入学や出張授業での体験や説明
校内の推進体制	・総合学科係を中心に総合学科のキャリア教育の体制構築を継続する。 ・委員会等で内容の共有を図る。
キャリア・パスポートの取組	・一年次は「今までの自分を振り返る」「職業適性検査」を起点に職業観を養う調べ学習やプレゼンテーションをもとに自己評価する ・二年次は職業体験を中心として得た職業観をプレゼンテーションすることをもとに自己評価する ・三年次は具体的な進路に対する取り組みと課題研究によって自己評価をする

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	○自己を知る。他者を知る。 ○系列の学び研究から進路研究をする。 ○未来の道筋を考える。	○職業研究 ○職業体験 ○職業と自己との関係性	○近未来の具体的な目標の設定 ○つきたい職業と現実の融合 ○進学目標と実現への実践の手立て
主 取 組	○高校生活への適応 ○系列の学び体験から選択へ ○自己発信力の基礎	○就業体験(事前研究、事後研究) ○グループ研究発表	○就職のための具体的な取り組み ○進学に向けた具体的な取り組み
評 価	・自己および教員アンケート ・生徒意識調査 ・面接	・自己および教員アンケート ・生徒意識調査 ・面接	・自己および教員アンケート ・生徒意識調査 ・面接

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他(面接・評価等)
1 年	4 シラバスの説明(産) 今までの自分を振り返る(産) 職業適性検査の実施 3 系列の体験的授業(産) 7 家族インタビュー(産)		高校生活の意義と目的 グループ編成とクラスの集団作り	3 系列の希望調査・三者懇談
	夏休 家族インタビュー(産)			
	9 他者へのつながり(産) マナーアップ講座(産) 地域人材による講演会(産) 12		松代見学に向けた平和学習 松代大本営見学	系列選択の決定
	1 自己発信のための準備(産) テーマ学習(産) 3 三年生になった自分への手紙(産) 春休		1 年間のまとめと反省	生徒意識調査
2 年	4 7 夏休	「キャリアミドル」ガイダンス インターンシップガイダンス 職業希望者のグループ化 グループ発表 先輩からの助言 就業体験、報告書の作成(全員) オープンキャンパス等への参加	2 年生としての目標と心構え 集団作り 文化祭準備	
	9 12		修学旅行に向けた平和学習 校外生活の在り方 修学旅行 修学旅行のまとめと反省	
	1 3 春休		3 年生への心構え	生徒意識調査

3 年	4	「キャリア・チャレンジ」ガイダンス	マナーアップ講座の実施	
	7	自己の進路実現のための過ごし方 最終進路希望の決定に向けて 進路別の説明会		
	夏 休	進路決定への具体的取り組み		
	9	文化祭準備への取り組み 自己実現達成へのチャレンジ	身だしなみ講座 金融教育 労働講座	
	12 1			生徒意識調査
	3			